

I. 次の楽譜はシューベルト作曲、弦楽四重奏曲第12番の一部分である。下記の問いに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④の転回音程になるように、下の楽譜の上に全音符を書きなさい。なお、転回音程については、複音程は単音程に直して答えること。

(音程) (3点×8=24点)

①	短2度	②	長3度	③	完全5度	④	長6度
⑤	短9度 1オクターヴと短2度	⑥	減4度	⑦	減5度	⑧	短6度

(転回音程) (3点×4=12点)

2. 次の(a)(b)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(2点×2=4点)

(a) ⑦を属音とする和声短音階

(b) ⑦を導音とする長音階

3. 次の(c)(d)で示される音階を、調号を用いずに右の五線に主音から上行形で書きなさい。

旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。(3点×2=6点)

(c) ⑦を下属音とする旋律短音階

(d) ⑤を下属音とする長調の第III音を

主音とする長音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい。

1.(1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。(2点×10=20点)

- (1) 種類 属七の和音 転回形 第3転回形 (2) 種類 減三和音 転回形 第1転回形
 (3) 種類 長三和音 転回形 第2転回形 (4) 種類 増三和音 転回形 第1転回形
 (5) 種類 短三和音 転回形 第1転回形

2. 次の文中の《 》に関係調の名称を、[]に調名を、{ }に和音の種類を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。(a～c:2点×4=8点、d:1点×7=7点)

a. (1)の和音の根音を属音とする短調の《 下属調 》はハ短調である。

b. (2)をII度の和音とする調の同主調は [ト長調] である。

c. (5)を下属和音とする調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調を同主調とする調の平行調は [嬰ハ短調] である。

d. 長音階の音階上にできる三和音の種類をそれぞれ答えなさい。

I { 長三和音 } II { 短三和音 } III { 短三和音 } IV { 長三和音 }

V { 長三和音 } VI { 短三和音 } VII { 減三和音 }

III. 次の楽語の意味を右から1つずつ選び、その番号を書きなさい。(1点×7=7点)

rallentando	9
tre corde	10
Andante	8
feroce	3
scherzando	12
assai	5
lamentoso	14

- 意味: 1. 消えるように 2. ～ふうに 3. 荒々しく 4. 優雅に 5. 非常に 6. 牧歌風に 7. 神秘的に 8. 歩くような速さで 9. 次第に遅く 10. 弱音ペダルを使用しないで 11. 中ぐらいの速さで 12. 戯れるように 13. 弱音ペダルを使用して 14. 悲しげに

IV. 次の旋律ABの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調していきます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。(2点×6=12点)

A

B

C Adagio

- A 嬰ハ短調 B ハ短調
 C (い) ヘ長調 (ろ) ト短調
 (は) ハ長調 (に) イ短調